

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

土浦市 解答と解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	ドイツのツェッペリン伯号は、世界一周を初めて成し遂げた飛行船です。日本には、1929年(昭和4年)8月19日から23日までの5日間、大きな格納庫(かくのうこ)をもつ霞ヶ浦海軍航空隊にだけ寄航(きこう)しました。	3
2	土浦藩の土屋家は数々の刀剣を所蔵していました。特に、短刀「筑州住行弘(ちくしゅうのじゅうゆきひろ)」は国宝に指定されています。土屋家刀剣の主なもの、二代藩主政直(まさなお)が所有していたもので、その中には將軍から下賜(かし)されたものや他の大名家から贈られたものも見受けられます。	4
3	国指定史跡の上高津貝塚(かみたかつつかいづか)は、縄文時代の集落跡です。史跡内には、 竪穴住居(たてあなじゅうきょ) や縄文時代の森(植生)が復元されているほか、貝塚の断面などを観察できる施設があります。	1
4	アルカス土浦 は、銀行や交番、学習塾、市民ギャラリー、図書館が入った複合施設として、2017年(平成29年)11月27日にグランドオープンしました。図書館開館時の蔵書数は約35万冊で、最大蔵書可能数は56万冊です。約650席の閲覧・学習席を備え、県内公立図書館では県立図書館に次ぐ規模を誇る施設になりました。	2
5	朝日峠は、土浦市と石岡市を結ぶ、筑波連山南東部に位置する峠です。この峠道は急勾配(こうばい)・急カーブが連続していることから通り抜けが難しく、冬季には積雪や凍結により通行止めになることがありました。このことから土浦市・石岡市は、延長3,660メートル(トンネル区間1,784メートル)を計画し、事業化し、2012年(平成24年)11月12日に 朝日トンネル が開通しました。	4
6	土浦全国花火競技大会においては、スターマインの部の優勝業者に経済産業大臣賞、10号玉の部の優勝業者に中小企業庁長官賞、創造花火の部の優勝業者に茨城県知事賞がそれぞれ授与されます。3部門の中から最も優れた煙火業者に 内閣総理大臣賞 が授与されます。	2
7	2010年(平成22年)11月3日の市制施行70周年を記念して、市民をはじめ、全国の方にも愛され親しまれる市のイメージキャラクター及び愛称を募集し、土浦市のイメージキャラクターの愛称が「 つちまる 」に決まりました。	3
8	霞ヶ浦の風物詩である帆曳船(ほびきせん)は、風の力を利用して引網を引っ張り、漁を行う帆船です。1880年(明治13年)に、漁師の折本良平(おりもとりょうへい)により考案されたといわれています。帆曳船は、最初はシラウオの漁獲を目的に創始されたといわれ、1889年(明治22年)ごろに ワカサギ 用にも改良されました。	1
9	東寺百合文書(とうじひやくごうもんじょ) は、京都の東寺(教王護国寺)に創建以来集積され、保管されてきた約1万9千点の寺院経営の文書で、国宝に指定されています。この中で鎌倉時代の1329年(元徳(げんとく)元年)に書かれた文書に「土浦」の名を見ることができます。	2
10	マスコットである「 キララちゃん 」は、夏のイベント『土浦キララまつり』のキャラクターとして誕生しました。親しみあるキャラクターから「まちづくり活性化バス」の愛称にもなりました。	4
11	ヨシキリ は霞ヶ浦周辺のアシ原などに渡ってくる夏鳥で、その鳴き声は湖面に響き渡り、初夏の水郷情緒を盛り上げています。ウグイスは市内全域に生息し、緑豊かな自然を表しています。	2
12	自然に対する市民意識の向上と潤いのある住みよいまちづくりを推進するため、市制施行45周年を記念して1985年(昭和60年)11月に制定した ポプラ・サクラ に、2006年(平成18年)2月旧新治郡新治村との合併により、新たに ケヤキ が加えられました。	4
13	土塚(どべい)にある○、△、□の形をした穴は、狭間(さま)と呼ばれ、外をうかがいながら、 攻撃するため(矢や鉄砲を放つため) の小窓です。表に向かって先がしぼられています。	3
14	茨城県で45年ぶりに開催された第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)の正式競技の会場として、土浦市では 相撲 、水球、軟式野球の3競技が実施されました。柔道は龍ヶ崎市、バドミントン石岡市、アーチェリーはつくば市で実施されました。	1
15	1940年(昭和15年)11月3日に「土浦町」と「真鍋町」を廃して市制施行し、県内では、水戸市、日立市に次いで 3番目 の市として、人口35,567人7,298世帯の土浦市が誕生しました。	3
16	食用になるレンコンは、漢字で蓮根と書きますが、根ではなく 地下茎(ちかけい) です。ここに栄養分が蓄えられ、肥大します。なお、レンコンを輪切りにした時に現れる穴は、葉の気孔(きこう)とつながっており、泥の中でも呼吸できます。	2
17	旧茨城県立土浦中学校の本館は、現在の 土浦第一高等学校 の敷地内にあります。土浦中学校の本館は、細部のデザインや装飾に洗練された美しさを感じさせるゴシック様式の建物です。旧制中学校の建物としては、最初に国の重要文化財に指定されました。	4
18	真鍋小学校(まなべしやうがっこう)のサクラは、真鍋小学校の校庭に生育している ソメイヨシノ の古木5本の総称です。1907年(明治40年)の真鍋小学校の卒業生たちが新校舎落成記念として寄贈したもので、樹齢約110年です。ソメイヨシノとしては青森県弘前市の弘前公園に植栽されている数本に次いで古いものと推定されています。1956年(昭和31年)に中央の3本、2002年(平成14年)に両端の2本が、茨城県の天然記念物に指定されました。	1
19	1863年(文久(ぶんきゅう)3年)に幕府の政策によって、江戸詰めの土浦藩士が常名(ひたな)に移住をした際、射撃訓練のため現在の都和(つわ)一丁目に 鉄砲塚(てっぽうづか) が築かれました。市指定文化財となっています。	3
20	2019年(平成31年)にオープンした「 りんりんポート土浦 」は、新たなサイクリング拠点として、シャワー室や自転車のメンテナンスサービスなどのサイクリスト向けの設備のほか、展望スペースなど市民が気軽に利用できる設備もあります。約100台分の駐車場もあるため、車で訪れてサイクリングに出かけることも可能です。	2
21	「 九万五千石(きゅうまんごせんごく) 」は、真鍋三丁目の前島製菓(せいか)で、1958(昭和33年)から製造されている かりんとう です。	4
22	茨城県では、家庭での自然体験活動の取組を奨励し、心豊かな子どもの育成を目指して、県内100か所を「子どもいきいき自然体験フィールド100選」としています。土浦市内では、「 中央青年の家及びその周辺 」、「 土浦市霞ヶ浦総合公園ネイチャーセンター 」、「 穴塚大池(しつかおおいけ) 」の3か所が指定されています。スタンプラリーも行っており、スタンプの数によって、茨城県教育長賞や茨城県知事賞がもらえます。	1
23	小野小町(おののこまち)は、 平安時代前期9世紀頃 の女流歌人です。小野小町は、絶世の美女として数々の逸話があり、後世に能や浄瑠璃の題材としても使われています。	2
24	2017年(平成29年)にリニューアルオープンした川口運動公園野球場の愛称は、「 J:COMスタジアム土浦 」に決定しました。約13,000人分の観客席になりました。	3
25	土浦では、 江戸時代(元禄(げんろく)年間(1688年～1703年)) に国分宋山(こくぶそうざん)(大國屋勘兵衛(だいくや かんべえ))が城下の田宿町(たじゆくまち)に醸造所(じょうぞうじょ)を設け、醤油(しょうゆ)造りを開始したのが始まりといわれています。当時の土浦藩主は土屋政直(つちや まさなお)で、領内の産業復興に努め、醤油造りを推奨しました。	4